

***ISEPTUFS Students &
Special Auditing Students***

***Guidebook of
Class Registration
=2014 Spring Semester=***

***ISEPTUFS・特別聴講学生 履修案内
=2014 年春学期=***

***Tokyo University of Foreign Studies
東京外国語大学***

TUFS Academic Calendar - 2014 Spring Semester

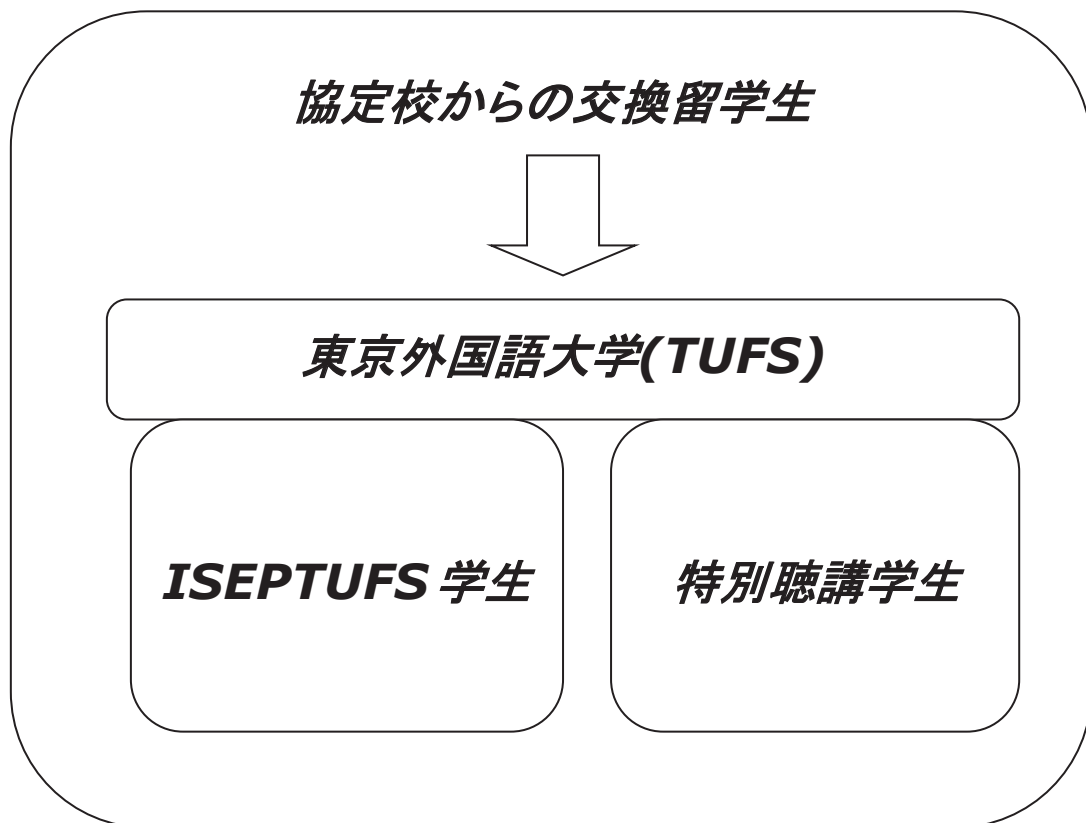
For International Student Exchange Program TUFS' students and Special Auditing Students

<i>Events for the Year 2014</i>		
Apr 1(Tue) or 2(Wed)	(2014. 4 entry) Exchange students Arrival	来日
Apr 3(Thu)	Orientation for the International Students	オリエンテーション
Apr 4(Fri)	Medical examination for 2014. 4 entry students	健康診断
Apr 4(Fri)	Placement test for students participating in Exchange Program	プレイスメントテスト
Apr 8(Tue)	2014 Spring semester Classes begin for Japanese Language Program and the undergraduate and graduate students.	授業開始
Middle of April	Class registration period: (Spring Semester)	春学期履修登録期間
May 28(Wed)	University boat race (No Classes)	ボート大会(休講)
Jul 29(Tue) - Aug 4(Mon)	Spring semester Final Exams	春学期定期試験
End of July	(2014.8 graduate) Closing Ceremony	閉講式
Aug 6(Wed) - Sep 30(Tue)	Summer Break	夏休み

* This schedule is subject to change.

交換留学プログラム

東京外国語大学には、交換留学プログラムとして、①定められたルールにより修了証の取得を目的とする、東京外国語大学国際教育プログラム(International **S**tudent **E**xchange **P**rogram of **T**okyo **U**niversity of **F**oreign **S**tudies: ISEPTUFS)のコースと、②修了証を目的とせずに、自由に科目を選択することができる特別聴講学生(Special Auditing Student)のコースがあります。



1. ISEPTUFS って何？

1.1 プログラムの目的

ISEPTUFS は、日本人学生・留学生を問わず、本学のすべての学生のために開かれている、1年間の短期留学プログラムです。本プログラムは、学生相互の国際交流(自国と日本、自国と諸外国)を推進し、知的な交流を深め、国際性豊かな優れた人材を育成することを目的に「日本で学ぶ」有意義な機会を与えるものです。そして同時に、東京外国語大学がグランドデザインに明記する「IJ 共学」(日本人学生と留学生が共に学ぶこと)の推進力となるものです。

1.2 プログラムの歴史

ISEPTUFS は 1998 年 10 月から、留学生の正式な受け入れを開始しました。それ以前の短期留学プログラムは、受け入れ担当教員個々の裁量にもとづくものでしたが、ここに新たに、プログラムとして短期留学生を受け入れるシステムが加わったこととなります。

2014 年現在では、17 年目となりました。当初は 20 名だった受け入れ学生数も次第に多くなり、現在では 90 名以上の学生が学んでいます。その中には奨学金をもらわず、私費で学んでいる学生も少なくありません。

1.3 プログラムの特徴

他大学の短期プログラムと比べて、ISEPTUFS には以下のような特徴があります。

- (1) 東京外国語大学に設置されている 27 地域言語活かして、各学生が母語で指導教員から指導を受けられます。
- (2) プログラム専任の教員が充実しているので、単なる専門科目の「よせ集め」ではない、日本学・国際研究の専門科目をそろえることができます。
- (3) ISEPTUFS の専門科目(2.1.2.を参照)では、日本人学生も授業に参加するので、日本人学生と友達になれるよい機会になります。

上記のような特色を活かした ISEPTUFS は、「IJ 共学」理念の実現に向けて、東京外国語大学の大きな特長となりつつあります。既に新聞・テレビなど、マスメディアからの取材も多くなっています。

2. ISEPTUFS 学生

ISEPTUFS 学生は専門科目の履修別に「国際研究コース International Studies Course」「日本研究コース(Japan Studies Course)」に分かれます。

「国際研究コース」は、本学の特色を生かした地域横断的な視点からグローバルな主題を学ぶもので、「日本研究コース」は、国際的な視点からより深く、多角的に日本を主題として学びます。一部の授業は日本語でも行います。

2.1 受講科目について

2.1.1. プログラムの修了

ISEPTUFS 学生がプログラムを修了するためには、以下の条件があります。

1. 2 学期間在籍していること。
2. 国際研究コースまたは日本研究コースのコースリストから 12 単位を修得すること。
3. 学部開講の授業または留学生日本語教育センターの全学日本語プログラム(JLP)から 8 単位を修得すること。
4. 上記 2 と 3 で合計 20 単位を修得すること。

- 20 単位以上を修得することも可能です。履修した科目はすべて成績表に記載されます。
- 言語科目は 1 科目 1 単位となりますので注意が必要です。

2.1.2. ISEPTUFS プログラム専門科目

ISEPTUFS 学生は必修科目として国際研究コース及び日本研究コースのコースリストの中から授業を履修しなければなりません。

専門科目のほとんどは英語で開講されます。ISEPTUFS 学生は最低、1 週間に 3 回履修することが修了要件となっています。

専門科目には、日本の宗教や古典文化を学ぶレクチャー型の科目や、コミュニケーション・プレゼンテーションを中心に行われるリサーチ & プレゼンテーション科目などがあります。開講科目の詳細はシラバスをご覧ください。

2.1.3. 専門科目以外の学部で開講される科目

学部で開講されている科目または日本語科目(全学日本語プログラム)から合計 8 単位となるように履修しなければなりません。言語科目は 1 学期間で 1 単位、講義科目は 1 学期間で 2 単位となります。

学部の授業には一部、履修できない授業がありますので注意してください。

2.1.4 日本語科目 (Japanese Language Program)

日本語科目は「全学日本語プログラム(JLPTUFS: Japanese Language Program of Tokyo University of Foreign Studies)」を履修します。このプログラムは東京外国語大学で学ぶ留学生

全体のプログラムで、それぞれのコースの中心となるのは、週に2～5 回学ぶ「総合日本語」です。その内容を以下に紹介します。日本語科目に関する詳細は、「全学日本語プログラム履修案内」をご覧ください。

修得単位は1科目1単位となります。

なお、日本語科目は、「聴講のみの登録」はできませんので、注意が必要です。

＜レベル別開講クラスとクラス番号一覧＞

レベル	集中 コース	レギュラーコース							
		総合	技能／トピック別 (週1コマ)					漢字	発音
初級 100～	100 (10コマ)								
初中級 200～	200 (10コマ)								
中級1 301～		301 (5コマ)	文法 311	読解 312	聴解 313	文章 314	口頭 315	漢字 901	発音 911
中級2 401～		401 (5コマ)	文法 411	読解 412	聴解 413	文章 414	口頭 415	902	
中上級 501～		501 (5コマ)	文法 511	読解 512	聴解 513	文章 514	口頭 515	903	
上級1 601～		601 (3コマ)	文法 611	読解 612	聴解・時事 613	文章 614	口頭 615	904	
上級2 701～		701 (2コマ)	文法 711	読解 712	聴解・時事 713	文章 714	口頭 715		
超級 801～					文章 824	時事 826	ドラマ 827	ビジネス 828	

※文章＝「文章表現」、口頭＝「口頭表現」、時事＝「時事日本語」、ドラマ＝「ドラマ・ドキュメンタリー」、ビジネス＝「ビジネス日本語」、文章824＝「アカデミック・ライティング」

日本語 100-200 レベル

このコースは自国で日本語の初級(日本語能力試験N4レベル)を終了していない学生に対する日本語コースです。200 レベル終了時には、初級から初中級レベルの日本語を学習し、4技能(読む・聞く・書く・話す)について、「大学で学ぶための日本語運用力」(Japanese for Academic Purposes)の基礎が身に付きます。100 レベル、200 レベルともに、週 10 コマのクラス(集中コース)を受講します。

日本語 300-500 レベル

このコースは自国で 200 レベルまたは同等に相当する日本語授業を終了した学生に、中級レベ

ルあるいは中上級レベルの「大学で学ぶための日本語運用力」(Japanese for Academic Purposes)をつけることを目標に設定されたコースです。週 5 回の総合クラスに加え、多彩な選択科目(週1回×5 科目)があり、希望する学生は週 10 コマ受講できます。その他にも、漢字クラスと発音クラス(500 レベル以上)の受講が可能です。

日本語 600-700 レベル

このコースは自国で日本語 500 レベルまたは同等に相当する日本語授業を終了した学生に、上級の「大学で学ぶための日本語運用力」(Japanese for Academic Purposes)をつけることを目標に設定されています。週 3 回(600 レベル)または 2 回(700 レベル)の総合クラスに加え、多彩な選択科目があります。

日本語 800 レベル

このコースは自国で日本語 700 レベルまたは同等に相当する日本語授業を終了した学生に、超級の「大学で学ぶための日本語運用力」(Japanese for Academic Purposes)をつけることを目標に設定されています。文章、時事、ビジネス、ドラマが設置されています。

<プレイズメント・テストと日本語レベル>

来日してから受けるプレイズメント・テストは1度だけです。学期中に履修した日本語科目(漢字・発音クラスを除く)の成績が、3単位相当以上(700 レベルの学生は2単位相当以上)、B以上であった場合に、翌学期の一つ上の日本語レベルの科目を履修できます。詳しくは、全学日本語プログラム履修案内を参照してください。

<履修クラスへの出席>

全学日本語プログラムで開講される日本語クラスの出席はすべて留学生課で管理されています。法務省入国管理局の指導のもとに、留学生の出席状況は必要に応じて報告されます。出席状況が 80%以下の場合、成績判定ができなくなります。また、留学生としての身分が失われる可能性がありますので、注意してください。

3. 特別聴講学生

特別聴講学生は、ISEPTUFS 学生と違い、修了証の取得を目的としませんので、特別の履修モデルはありません。自由に科目を選択することができます。

3.1 受講できる科目

3.1.1. 専門科目(ISEPTUFS科目)

3.1.2. 学部で開講される科目(一部受講できない科目があります)

※大学院に在籍する特別聴講学生は、大学院で開講される科目も受講できます。

3.1.3. 全学日本語プログラム(Japanese Language Program)

4. 受講できない科目

学部の開講科目のうち、英語 **I**、ドイツ語 **II**、のように、科目名に「I」「II」がつく科目は受講できません。

5. 履修登録

履修する科目を決定したら、次の書類を履修登録期間内に提出してください。履修登録をせずに授業を受けても単位を取れません。

- ・ 履修登録票
- ・ 日本語科目のマークシート
- ・ 授業聴講依頼(ISEPTUFS 専門科目・日本語科目以外の科目を履修する場合、この書類を提出してください)

6. 単位の認定と修了証

ISEPTUFS 学生が修了証 (certificate) を得ようとする場合、在学中の 1 年間で、2.1.1 の記載のとおり少なくとも 20 単位以上を取得しなければなりません。要件を満たさなければ、修了証は発行されません。学期のはじめに科目アドバイザー (Subject Advisor) のもとへ相談に行き、正しい履修をおこなっているかどうか、かならず確認してください。

東京外国語大学で履修した単位は次のように認定します。

講義科目 2 単位

言語科目 1 単位

日本語科目 (全学日本語プログラム)

100, 200 : 10 単位

301, 401, 501 : 5 単位

601 : 3 単位

701 : 2 単位

310 番台, 410 番台, 510 番台, 610 番台, 710 番台, 820 番台, 900 番台 : 1 単位

なお、本学が認定した単位数が卒業・学位授与に関する単位に認定されるかどうかは、出身大学の判断によります。

また特に希望する場合、専門科目は追加の課題 (Extra Work) によって 3 単位として認定することも可能です。詳しくは各科目の開講時に個々の担当の先生に相談してください。学期の終わりに追加の課題をおこなうことは大変ですから、早めに相談することが必要です。ただし、追加の 1 単位を修了証に必要な 20 単位に換算することはできませんので注意してください。

7. 指導教員・科目アドバイザー

各留学生には、指導教員(Academic Advisor)がいます。このほかに、ISEP 科目・日本語科目には科目アドバイザーがいます。学期のはじめに科目アドバイザー(Subject Advisor)のもとへ相談に行って、正しい履修をおこなっているかどうか、かならず確認してください。

科目アドバイザー		
ISEP 科目	教授 岡田 昭人	
日本語科目	准教授 伊集院 郁子	

8. その他の情報

授業時間	1 時限	8:30～10:00
	2 時限	10:10～11:40
	3 時限	12:40～14:10
	4 時限	14:20～15:50
	5 時限	16:00～17:30
	6 時限	17:40～19:10

困ったことや悩み事があっても、相談相手がいないとき、先生や友達に相談したくないときには、学生相談室で相談員に相談してください。

《学生相談室》

日時 月曜～金曜 12:00～16:00

場所 研究講義棟 1 階

連絡先 042-330-5560 e-mail: gakusei-soudan@tufs.ac.jp

学生相談室で相談するほかに、専門のカウンセラーに相談することができます。

- ・ カウンセリングの日は 毎週金曜日 13:00～17:00
- ・ 場所は 保健管理センター1 階

次のような質問は留学生課に相談してください。

- ・ 履修登録に関する質問や相談
- ・ 各種証明書に関する相談

次のような事柄は留学生課に届け出てください。

- ・ 住所、電話番号などの変更
- ・ 帰国や一時出国などの予定

留学生課(事務局棟 1階)

オフィスアワー : 平日 9:00~17:00

〒183-8534

東京都府中市朝日町 3-11-1

9. メモ

アカデミックアドバイザー

氏名			
研究室番号		オフィスアワー	

授業時間割

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限目					
2時限目					
3時限目					
4時限目					
5時限目					
6時限目					

2014 Spring Semester

ISEPTUFS Syllabus

ISEPTUFS専門科目 / ISEPTUFS Elective Classes

2014年度国際研究コースリスト / International Studies Course List for the AY 2014

春学期 / Spring Semester

No	Code/履修コード	Period/時限		Title/科目名	Credits/単位	Instructor/教員	Room No./教室	Remarks/備考
1	9502	月・2	Mon 2	The Middle East in International Politics	2	Yasuyuki MATSUNAGA 松永 泰行	114	
2	9460	月・6	Mon 6	Peace and Conflict Studies: An Introduction to Human Security	2	Giorgiandrea SHANI シャーニー	109	
3	9500	水・3	Wed 3	Indian Mass Media and Globalization	2	Ram Prakash DWIVEDI ドゥヴィヴェディー	107	
4	9503	水・3	Wed 3	World History 1	2	Takashi MIYAMOTO 宮本 隆史	216	
5	9453	水・4	Wed 4	Comparative Literature 1	2	Arthur FOWLER ファウラー	102	
6	9513	水・4	Wed 4	Case Studies in Environmental Conflict and Resolution 1	2	Richard WILCOX ウィルコックス	113	
7	9471	水・5	Wed 5	Environment and Human Life 1	2	Richard WILCOX ウィルコックス	108	
8	5005	木・3	Thu 3	★★Introduction to Linguistics (Syntax)	2	Ryujiro HAYASHI 林 龍次郎	100	
9	6228	木・4	Thu 4	The Novel in India	2	Subha Chakrabarty Dasgupta ダスグプタ	326	
10	9478	木・5	Thu 5	An Introduction to World Geography	2	Michael MURPHY マーフィー	224	
11	9455	木・5	Thu 5	War and Journalism	2	Kazuo ABIKO 我孫子 和夫	307	
12	9467	金・2	Fri 2	International Social Development 1	2	Housam DARWISHEH ダルウィッシュ	114	
13	9474	金・5	Fri 5	Literature and Music 1	2	Neil CONWAY コンウェイ	226	
14	9518	金・5	Fri 5	Intercultural Communication and Miscommunication	2	Kyoko MORITA 森田 京子	221	
15	9493	金・5	Fri 5	★Globalization and Immigration 2	2	Fumihiko AZUMA 東 史彦	108	
16	9498	集中	Intensive	★Introduction to Cultural Studies	2	Tetsuya MOTOHASHI 本橋 哲也	TBA	
17	9464	集中	Intensive	Introduction to International Relations	2	Atsuko HIGASHINO 東野 篤子	TBA	
18	9461	集中	Intensive	International Dispute Settlement	2	Yukiko TAKASHIBA 高柴 優貴子	TBA	
19	6025	集中	Intensive	★★Introduction to Contemporary British Culture: The Pygmalion Theme in British Culture	2	Megumi ARAI 新井 潤美	TBA	
20	7068	集中	Intensive	★★Gender and Globalisation	2	Kaoru AOYAMA 青山 薫	TBA	

Note: Stars are represent the course level.

This schedule is subject to change.

TBA :To Be Announced

ISEPTUFS専門科目 / ISEPTUFS Elective Classes

2014年度日本研究コースリスト / Japan Studies Course List for the AY 2014

春学期 / Spring Semester

No	Code/履修コード	Period/時限		Title/科目名	Credits /単位	Instructor/教員	Room No./教室	Remarks /備考
1	9486	月・2	Mon 2	Introduction to Japanese Traditional Culture	2	Tamami FURUSE 古瀬 珠水	226	
2	9490	月・5	Mon 5	Japanese Religions	2	Kazuo MATSUMURA 松村 一男	307	
3	9508	火・3	Tue 3	The role of ukiyo-e (Japanese woodblock prints) as an information medium メディアとしての浮世絵	2	Akane FUJISAWA 藤澤 茜	Prometheus Hall at Agora Global	*
4	9509	火・4	Tue 4	Japanese society and religion 日本の社会と宗教	2	Kikuko HIRAFUJI 平藤 喜久子	101	*
5	9517	火・5	Tue 5	Religious culture in contemporary Japan 現代日本の宗教文化	2	Kikuko HIRAFUJI 平藤 喜久子	226	*
6	9488	火・5	Tue 5	★Corporate Governance and Culture in Comparative Perspective 2	2	Hiroki ICHINOSE 市瀬 博基	105	
7	9506	水・5	Wed 5	Japanese Grammar for Pedagogical Purposes 日本語文法の諸相—日本語教育文法として	2	Tetsuya KUSUMOTO 楠本 徹也	107	*
8	9476	水・5	Wed 5	Translation / Interpreting Studies 1	2	Masaru YAMADA 山田 優	102	
9	9457	木・1	Thu 1	Language and Society 1	2	Mark WINCHESTER ウィンチェスター	106	
10	9496	木・4	Thu 4	Japanese Youth and Popular Culture	2	Sachiko HORIGUCHI 堀口 佐知子	331	
11	9497	木・5	Thu 5	Japanese Society and Culture from an Anthropological Perspective	2	Sachiko HORIGUCHI 堀口 佐知子	218	
12	9463	木・6	Thu 6	Second Language Acquisition 1	2	Eric HAUSER ハウザー	309	
13	9482	金・4	Fri 4	Introduction to Language and Culture	2	Margaret-Mary LIEB リーブ	211	
14	9481	金・4	Fri 4	Japanese Films in Comparative Perspective	2	Akito OKADA 岡田 昭人	115	
15	9484	金・4	Fri 4	★Japan's Post-War Compensation Issues and Contemporary History	2	Taihei OKADA 岡田 泰平	113	
16	9449	金・4	Fri 4	Introduction to Japanese Politics	2	Mir Monzurul HUQ ハック	Project Space at Agora Global	
17	9452	金・5	Fri 5	Media-Government Relationship in Japanese Democracy	2	Mir Monzurul HUQ ハック	211	
18	9465	金・6	Fri 6	Applied Linguistics 1	2	Paul Martin HORMESS ホーネス	103	
19	9499	集中	Intensive	★Post colonialism and Modern Japan	2	Tetsuya MOTOHASHI 本橋 哲也	TBA	

Note: Stars are represent the course level.

This schedule is subject to change.

Some classes marked with "*" are conducted in Japanese, but most classes are conducted in English.

Code	9457
Instructor	Mark WINCHESTER
Title	Language and Society 1
Term	Spring
Day, Period	Thursday, 1
Lecture or Exercise	Lecture
Goals of the Course	
Overview of the Course	
In this course we will study about the languages of Japan in English. Rather than viewing the language/s of Japan as a singular national language, this course aims to understand the languages of Japan as multilingual through considering their synchronic and diachronic diversity and multiplicity. Through studying their historical transition, regional diversity, as well as differences in linguistic characteristics according to gender and the workplace, this course will enable students to gain knowledge about 'Japanese' as a plural phenomenon	
Key Word	
Japanese, Korean, Ainu, English, Globalization, Ideology, Culture	
Plan	
1 Introduction 2 The Fall of the Japanese Language in the Age of English: Warm up 3 The Fall of the Japanese Language in the Age of English 1 4 The Fall of the Japanese Language in the Age of English 2 5 The Fall of the Japanese Language in the Age of English 3 6 The Fall of the Japanese Language in the Age of English 4 7 The Fall of the Japanese Language in the Age of English 5 8 Loan Words 9 Loan Words 10 Hybrid Languages and 'Pidgin' 11 Dialect Language in Television Drama 12 Language and Ideology: North Koreans in Japan 13 The Ainu Language 14 Language and Gender 15 Final Exam	
Grading	
Assessment: There will be a 1000 word essay worth 25% of the assessment. There will be a final exam worth 25%. The breakdown of the assessment is as follows: 1. Class Participation (25%) 2. Class Presentation (25%) 15 min/ 5 min activity/Q&A 3. Final Exam (25%) 4. Final Essay (25%) Depending on student numbers the class presentation may be substituted by group work.	
Preparation	
Minimum Expectations <input type="checkbox"/> Regular attendance and active participation in classes <input type="checkbox"/> Response to email contact <input type="checkbox"/> Completion of assigned work <input type="checkbox"/> Reading preparation for presentations and/or group work each week	
Notes	
Textbook(s)	
日本語が亡びるとき:英語の世紀の中で／水村美苗:筑	

摩書房,2008, ISBN:4480814965
Reference(s)
Additional information on textbooks and reference books
For the first seven weeks we will read and discuss Mizumura Minae's book 'The Fall of the Japanese Language in the Age of English'. After this the readings for each class will be provided to students as PDF files.
Language
English

Code	9482
Instructor	Margaret-Mary LIEB
Title	Introduction to Language and Culture
Term	Spring
Day, Period	Friday, 4
Lecture or Exercise	Lecture / Exercise Combination
Goals of the Course	
The goal of this class is to introduce students to the connection between language and cultural identity, the influence of culture on communication, and the value of indigenous languages. Students will reflect on the nature of language in shaping thought processes, and the importance of intercultural communication skills. It is hoped that students will not only increase their cultural fluency, but also achieve a greater appreciation of their own language and culture.	
Overview of the Course	
This course will be based on lectures and PowerPoint presentations. Each class will consist of lectures, group discussions, and reflective exercises. Outlines for each course will be provided and students may use these to take notes and keep summaries of lecture content.	
Key Word	
Language, culture, sociolinguistics, pragmatics.	
Plan	
1:Course Introduction 2:The Language Culture Connection 1 3:The Language Culture Connection 2 4:Linguistic Signs and Meanings Across Cultures 1 5:Linguistic Signs and Meanings Across Cultures 2 6:Pragmatics 1: Definitions and Pragmatic Skills Across Cultures 7:Pragmatics 2: Pragmatic Coherence and Pragmatic Breakdown 8:Pragmatics 3: Intercultural Communication and the Cooperative Principle 9:Spoken Language 1 10:Spoken Language 2 11:Written Language 1 12:Written Language 2 13:Language and Culture In Ireland 1 14:Language and Culture in Ireland 2 15:Language and Culture in Ireland 3 16:Course Review	
Grading	
In-class tasks 50% Final exam 50%	
Preparation	

Notes
This course will be taught entirely in English. Students taking this class should have a good command of English and come to class prepared to participate actively by listening, taking notes, participating in group discussions, and completing in-class tasks. Dictionaries are essential to ensure students understand key terminology.
Textbook(s)
Reference(s)
Additional information on textbooks and reference books
There is no specific textbook for this course. Lectures are prepared based on a variety of sources. Recommended readings will be announced in class.
Language
English

Code	9465
Instructor	Paul Martin HORMESS
Title	Applied Linguistics 1
Term	Spring
Day, Period	Friday, 6
Lecture or Exercise	Lecture
Goals of the Course	Course Objectives: The main objectives are to give students a general introduction into the various facets of applied linguistics and the issues involved with them. Students will... (1) become familiar with the field of SLA (2) discuss the process of learning a second language (3) discuss SLA theory and practice (4) discuss individual learner differences (5) outline their beliefs about successful language learning and teaching (6) present their ideas on SLA
Overview of the Course	This is an introductory applied linguistics course. Students will be introduced to a variety of perspectives on language acquisition, including theories on specific L2 language skills.
Key Word	
Plan	第 1 回 Introduction 第 2 回 Native Speakers 第 3 回 Native Speakers 第 4 回 SLA 第 5 回 SLA 第 6 回 Psycholinguistics 第 7 回 Psycholinguistics 第 8 回 Review 第 9 回 Sociolinguistics 第 10 回 Sociolinguistics 第 11 回 Language learners 第 12 回 Language learners 第 13 回 Assessment 第 14 回 Assessment 第 15 回 Review

Grading
Participation: Each week students will be expected to write and present a summary on the weekly theme. 30 points Presentation: Each student will present on one of the previous themes discussed in class. The purpose is to allow students to choose a topic and examine it more deeply. 30 points (2X15) Review: Students will demonstrate their knowledge on one of the themes by participating in speaking discussion. The theme will be randomly chosen from one of the themes covered in class. 15 points (3X5) Final Review: Students will demonstrate their knowledge on one of the themes by participating in speaking discussion. The theme will be randomly chosen from one of the themes covered in class. 20 points
Preparation
Notes
More details will be explained in the first class.
Textbook(s)
An Introduction to Applied Linguistics (2nd ed.) / Norbert Schmitt: Hodder Education, 2010
Reference(s)
Additional information on textbooks and reference books
Language
English

Code	9476
Instructor	Masaru YAMADA 山田 優
Title	Translation / Interpreting Studies 1
Term	Spring
Day, Period	Wednesday, 5
Lecture or Exercise	Lecture
Lecture	
Goals of the Course	To understand the view of translating and interpreting as a mediating act in intercultural communication. To become familiar with the main concepts, theories, and research concerns in the field of translation and interpreting studies.
Overview of the Course	This introductory course prepares students to discuss translation and interpreting as an object of academic inquiry. Students are expected to complete reading assignments and a final report.
Key Word	Translation, Interpreting
Plan	第 01 回: Introduction 第 02 回: What is translation/interpreting? 第 03 回: Translation Studies as an academic discipline 第 04 回: Equivalence(1) 第 05 回: Equivalence(2) 第 06 回: The functionalist approach

第 07 回:Norms in translation(1)
第 08 回:Norms in translation(2)
第 09 回:Discourse and register analysis approaches
第 10 回:Technology and translation(1)
第 11 回:Technology and translation(2)
第 12 回:Interpreting Studies as a sub discipline of Translation Studies
第 13 回:Cognitive aspects of interpreting
第 14 回:Sociocultural aspects of interpreting
第 15 回:Summary
Grading
Final report: 60% Participation in class discussions and small reaction papers: 40%
Preparation
Students are expected to complete reading assignment.
Notes
Students are expected to come to class, fully prepared by having read the assigned articles. Ask a lot of questions. There is no such thing as a stupid question in this course. The sequence of the course schedule may change depending on the specific needs and interests of the students.
Textbook(s)
Reference(s)
Introducing Translation Studies./Munday, J.:Routledge,2008 Introducing Interpreting Studies/Pöchhacker, F.:Routledge,2004
Additional information on textbooks and reference books
No textbook purchase is required, but students are strongly recommended to read the reference materials.
Language
English

6:Influence from the environment on SLA
7:Cognition; first exam due
8:Learner language
9:Learner language
10:Individual differences (aptitude, motivation, affect)
11:Individual differences (aptitude, motivation, affect)
12:Individual differences (aptitude, motivation, affect)
13:Social dimensions of SLA (interaction, socialization); second exam due
14:Social dimensions of SLA (interaction, socialization)
15:Social dimensions of SLA (interaction, socialization); third exam due one week later
Grading
Grades will be based on three take-home exams. Answers to these exams may be submitted as a hard-copy or electronically. There will be a penalty for late submission. Unexcused absences will also be penalized. If you have a legitimate excuse for being absent, it is very important to inform me.
Preparation
Students should complete all readings before class. PowerPoint slides of each lecture will be made available electronically following the lecture.
Notes
The content of this course is especially important for students who want to enter language education or a related field.
Textbook(s)
Understanding Second Language Acquisition/ Ortega:Hodder Education,2009, ISBN:9780340905593
Reference(s)
Additional information on textbooks and reference books
Language
English

Code	9463
Instructor	Eric HAUSER
Title	Second Language Acquisition 1
Term	Spring
Day, Period	Thursday, 6
Lecture or Exercise	Lecture
Goals of the Course	There are two objectives. One is to gain a broad and current understanding of research and theory in the field of second language acquisition (SLA). The other is to develop ability to understand and use academic English.
Overview of the Course	As this is an introductory course, it will cover a broad range of topics in SLA. Students will learn about these through readings and lectures and will be tested on what they have learned.
Key Word	second language acquisition
Plan	1:Course introduction 2:Introduction to SLA 3:Influence from the first (or other) language on SLA 4:Influence from the first (or other) language on SLA 5:Influence from the environment on SLA; model answer to exam question

Code	9453
Instructor	Arthur FOWLER
Title	Comparative Literature 1
Term	Spring
Day, Period	Wednesday, 4
Lecture or Exercise	Lecture and Discussion
Goals of the Course	As an Introduction to Literature, students will be exposed to a variety of writers and writing styles, focusing on one very broad current of 20th-century literature, most often associated with Spanish-American writers: Fantastic (or Magical) Realism. One very important goal of the class is simply to learn to enjoy reading challenging prose in English. Another goal is for students to become familiar with some of the major names in Spanish-American fiction, and recognize stylistic and thematic elements characteristic of those writers. Students will also develop and improve the ability to critically analyze literary and cultural works, reinforce their ability to articulate ideas and opinions, and develop their ability to listen to and evaluate different perspectives and interpretations in a logical and critical way.
Overview of the Course	In this first semester, most of our reading will be from short stories selected from some of the masters of 20th-century

fiction, though the course will end with the reading of one short novel. Readings will range from the fantastic stories of Ryunosuke Akutagawa, the one-minute stories of the Hungarian Istvan Orkney, a selection of stories from some of the major writers of Spanish-America, and finish with a novella by one of the U.S. most important contemporary writers, Thomas Pynchon. Weekly reading assignments will be fundamental, with short content quizzes given as necessary. A general background lecture will be provided by the instructor, with time taken to look closely at difficult passages and clarify ambiguities. From there, we will base our discussions on what elements may be described as “fantastic”, “realistic”, and what might be the functions of the interplay of these elements within the story. Short reaction papers or opinion essays may be assigned frequently, and there will be a mid-term and final exam.
Key Word
Fantastic Realisms
Plan
1. Fantastic or Realistic: A short reading and discussion. 2. What is Literature? A short reading and discussion. 3. Japan’s Ryunosuke Akutagawa: Selected Stories 4. Colombia’s Garcia Marquez: Selected Stories 5. Chile’s Isabel Allende: Selected Stories 6. Argentina’s Julio Cortazar: Selected Stories 7. Mid-term Exam 8. Argentina’s Jorge Luis Borges: Selected Stories 9. Argentina’s Jorge Luis Borges: Selected Stories 10. Hungary’s Istvan Orkeny: Selected Stories 11. Thomas Pynchon’s Novela “The Crying of Lot 49” 12. Thomas Pynchon’s Novela “The Crying of Lot 49” 13. Thomas Pynchon’s Novela “The Crying of Lot 49” 14. Thomas Pynchon’s Novela “The Crying of Lot 49” 15. Final Exam
Grading
Preparation/Participation: 10% Short Content Quizzes: 10% Short Summary/Reaction Essays: 20% Mid-term Exam: 30% Final Exam: 30%
Preparation
Students will be expected to do a lot of reading in this class. We will mostly be reading fiction but there may also be some theoretical non-fiction reading. Readings will not be easy, though I hope they will be a lot of fun. Successful class participation will depend on careful reading and re-reading of the stories up for discussion. Some short writing assignments will be given, and students will need to review content and themes for the exams. Most of the reading assignments will be handed out in class as photocopies, with the exception of the Pynchon novel which students will need to buy.
Notes
Class size limit: 40 students.
Textbook(s)
The Crying of Lot 49／Thomas Pynchon: Harper Perennial Modern Classics,1999, ISBN:978-0-06-091307
Reference(s)
Additional information on textbooks and reference books
Readings will be from photocopies provided by the

instructor. Students must purchase the novel.	
Language	
English	
Code	9496
Instructor	Sachiko Horiguchi 堀口 佐知子
Title	Japanese Youth and Popular Culture
Term	Spring
Day, Period	Thursday, 4
Lecture or Exercise	Lecture
Goals of the Course	
The aim of this course is to examine various aspects of Japanese youth and popular culture, which have attracted global/local attention, from an anthropological perspective. Students should relate their readings with everyday experiences throughout the course. By the end of the course, students will be able to critically engage with English language scholarship on Japanese youth and popular culture, and will have a nuanced understanding of key aspects of Japanese youth and popular culture.	
Overview of the Course	
We will start the course by introducing the anthropological perspective and methods, which forms the basis of our framework in making sense of Japanese youth and popular culture. An overview of anthropological studies of youth cultures will then be examined, followed by lectures on the instructor’s study of Japanese youth withdrawal (hikikomori). We will then discuss the following topics in Japanese youth and popular culture: otaku, ‘cool Japan’, adolescence, gender & the body in popular culture, music & globalization, youth & media, and youth, class & labor.	
Key Word	
Plan	
The following course schedule is tentative and subject to change depending on the participants of the course. Most s will involve a discussions of reading(s) & fieldwork (FW) as well as presentations. 1 Introduction: The anthropological perspective 2 Making sense of youth cultures from anthropological perspective 3 Case study of hikikomori (youth social withdrawal) research (1) 4 Case study of hikikomori (youth social withdrawal) research (2) (FW1) 5 A historical examination of otaku subculture (presentation) 6 ‘Cool Japan’& the global attraction of Japanese popular culture (presentation) 7 Adolescents, family,school,& friendship in Japan (presentation) (FW2) 8 Gender & the body: beauty, fashion, & body image (presentation) 9 Gender & the body sports & socialization (presentation) 10 Gender & the body: sexuality (presentation) 11 Japanese music, fandom, & globalization (presentation) 12 Mass media in Japan: TV industry(presentation) 13 Media technologies & Japanese youth identities (presentation) (FW3) 14 Japanese youth, class, & labor (presentation)	

15 Summing up
Grading
Active class participation (including reflections on presentations) 30%
Reading notes (checked in 10 sessions) 20%
Introductory essay (5%) & 3 fieldwork assignments (15%) 20%
Group presentation (20%) & an individual paper based on the presentation (10%) 30%
Preparation
Students will be expected to read scholarly works and prepare reading notes prior to class, so that they are ready to discuss them in class on a weekly basis. They should also spend time outside of class to prepare for a group presentation on a chosen topic (among those covered in the course) & writing a paper on the same topic within two weeks after the presentation. They will also do three small fieldwork projects outside of class and discuss them in class.
Notes
The number of students to be accepted in this class will be up to 40, so students who are interested in the course must all attend the first class in order to be eligible for a possible student selection. Student selection will be done based on a lottery to be conducted in the first class, but priority will be given to foreign students and students in senior years. Every student should submit a 500-word self-introductory essay outlining 3 topics he/she wants to make a presentation on with reasons by the 4th session. As for assignments early on in the semester that you may have missed due to late registration, it is your responsibility to submit them by the 6th session.
Textbook(s)
Reference(s)
Additional information on textbooks and reference books
Instructions about readings will be made in class by the instructor.
Language
English

Code	9481
Instructor	Akito OKADA 岡田 昭人
Title	Japanese Films in Comparative Perspective
Term	Spring
Day, Period	Friday, 4
Lecture or Exercise	Lecture
Goals of the Course	
Major aspects of the development of post-war Japanese cinemas are explored through an examination of various noted films. The relation of sound music, editing, camera angle, etc. in constructing a director's aesthetic will be considered. In several cases comparisons will be made between the original text and the film version. In addition, the social and cultural significance of various films and their relation to national and international film history will also be introduced.	

Overview of the Course
This course is structured around lectures and seminars 90 min. once a week unless stated otherwise in the syllabus.
Key Word
Plan
第 01 回:Introduction
第 02 回:Discussion for students' presentation
第 03 回:Discussion for making movie
第 04 回:feedback & comments for each group
第 05 回:Group Presentation I
第 06 回:Group Presentation II
第 07 回:Group Presentation III
第 08 回:Group Presentation IV
第 09 回:Group Presentation V
第 10 回:Group Presentation VI
第 11 回:Group Presentation VII
第 12 回:Group Presentation VIII
第 13 回:Final Presentation I
第 14 回:Final Presentation II
第 15 回:Final Presentation III
Grading
1. Weekly assignments 20%
2. Discussion participation 20%
3. Students' presentation 30%
4. Final assignment 30%
Preparation
Notes
Students who fail to attend more than three classes in a row will not be allowed to submit the final assignment without a reliable evidence of extraneous circumstances.
Textbook(s)
Printed materials will be distributed at the lectures along with a list of recommended literature for home reading.
Reference(s)
Additional information on textbooks and reference books
Language
English

Code	9500
Instructor	Ram Prakash DWIVEDI
Title	Indian Mass Media & Globalization
Term	Spring
Day, Period	Wednesday, 3
Lecture or Exercise	Lecture
Goals of the Course	
This course is designed to enable students to get an idea about mass media and its role, responsibilities and importance in emerging economies and developing societies like India in the age of globalization. Mass Media is an effective tool of globalization and responsible for creation of 'global village'. Indian mass media, which comprises print, radio, television, film and cyber media has brought a big cultural, social and economic changes in the nation, is one of the biggest media-system of the world. This course will enrich students' knowledge about mass media and it's	

functioning in context of socio-cultural and economic reforms in India.
Overview of the Course
This course is focused on Indian mass media including Print Media, Radio, Television, Film and Cyber Media. This course is a study of mass media with historical, sociological and cultural approach.
Understanding Media
Key Word
Media Studies, Globalization, Indian Media, Communication Studies
Plan
第 01 回:Communication, Mass Communication & Mass Media Communications-Human & Animal Ancient, Medieval & Modern Communications What is Mass Communication? Communications and its Media Mass Media-Development, Technology and Forms
第 02 回:Mass Media & Globalization: Old & New One Globalization: A Complex Concept Globalization: Political, Economic / Capitalistic, Cultural Global Community Role & Importance of Mass Media in Globalization
第 03 回:Mass Media of India: An Introduction Media in India-Development, forms and Social Change Emergence of Mass Media: Modernization of Indian society Mass Media in a Developing Society Impact of Mass Media in a Developing Society Mass Media: Fourth Pillar of democracy Mass Media: Many Forms, Many Responsibilities
第 04 回:Mass Media: Types PRINT Newspapers, Magazines, Books etc. ELECTRONIC Radio Television Film Internet
第 05 回:Role of Mass Media Information & News Entertainment Education Awareness & Empowerment Agenda Setting
第 06 回:Globalization & India Is India Globalized? Globalization in India-A Mass Media View Point (TRP) Global Economy and Indian Mass Media Advertisements: Lifeline of Mass Media Mass Media as a Market Creator
第 07 回:Print Media & Modernization Arrival of Printing Press in India Freedom Struggle & Role of Print Media Print Media and Social Change Post Independence Print Media Print Media in 21st Century
第 08 回:Mass Media of India: Print Indian Languages & Print Media Print Media: Hindi, Bangla, Marathi Print Media: Renaissance of North India Print Media: Contemporary Scenario
第 09 回:Radio in India: Medium of Masses Radio: A Unique Mass Medium Radio in India Importance of Radio in a Low-Literate Society Radio: Educating & Empowering the Common People Radio: Present Scenario, FM, Internet etc.
第 10 回:Television of India: Medium of Middle Class Television: Development of the Medium & Rise of Middle Class Doordarshan: Indian Public Broadcaster Satellite TV: Globalization of a Nation TV: Programs, Production and Cultural Change Television in India: A Contemporary Scenario CASE STUDIES
第 11 回:Films of India
第 12 回:Cyber Media: The New Media
第 13 回:Discussing the Major Dialects
第 14 回:Mass Media: Public Relation & Advertisements

第 15 回:Indian Mass Media in Global Context
第 16 回:Mass Media of India: An Evaluation Criticisms of Indian Mass Media Freedom of Speech Code of Conduct Challenges Road Ahead
Grading
Class Participation 30%
Mid Term Essays/ Project Work 30%
Final Examination 40%
Preparation
Term Paper/Project
Students will be asked submit a term paper or project work (2500-3500 words approx.) on a topic of their choice, duly approved by the instructor.
Notes
Students who wish to join this course are supposed to participate in debates and discussions in the class. Students who pursue this course will get a good knowledge about Indian mass media, society and culture. Students will be encouraged to watch movies. TV shows and read online materials to prepare their presentations/project. Social media will also be used to facilitate the students learning and help them to develop their communication skills.
Textbook(s)
The Indian Media Business/Vanita Kohli-khandekar: SAGE, India,2013, ISBN:9788132113560
Indian Media in a Globalized World/Maya Rangnathan, Usha M Rodrigues: SAGE, India,2012, ISBN:9788132104018
Reference(s)
Globalization on the Ground/Steve D. Derne:SAGE,India,2008, ISBN:9788178298269
Additional information on textbooks and reference books
Printed study material will be provided in the classes
Language
English

Code	9484
Instructor	Taihei OKADA 岡田 泰平
Title	★Japan's Post-War Compensation Issues and Contemporary History
Term	Spring
Day, Period	Friday, 4
Lecture or Exercise	Lectures and Discussions
Goals of the Course	To understand East Asian history of the second half of the 20th century and contending nationalism of East Asia. 英語による二〇世紀後半の東アジア史と現在の対立するナショナリズムに対する理解を深めること。
Overview of the Course	This course examines the so-called "Post-War Compensation Issues," such as "comfort women" and the forced labor of Koreans and Chinese. We will talk about East Asian history as well as Japan's relations with other Asian societies in the second-half of the 20th century (1945-Present). For this year, I would like to pay careful attention to the historical background of each society in the time period concerned as well as the prevailing mentality in each period. I believe that this approach is indispensable if we try to understand historical issues with appropriate attention to the

<p>details without falling into stereotypes towards other nationalities. In a sense, I would like to conduct the class by critically assessing the present danger of clashing nationalism of Japan, China and South Korea. No matter which side one takes, certain degree of self-criticism will be necessary.</p> <p>We will approach these issues at three different levels. First, we will start with positivist historiography, namely what took place under Japan's invasion of other Asian societies. Second, we will focus our attention on reparation issues and history controversies. Third, we will look into different social movements and thoughts and mentalities behind them.</p> <p>本授業では、「慰安婦」や朝鮮人・中国人の強制連行等といった「戦後補償問題」を中心に論じます。二〇世紀後半の東アジア史と日本・アジア関係史について認識を深めていきます。本年の授業では、二〇世紀後半期のそれぞれの時代に日本・朝鮮半島・中国がおかれた歴史状況に注目し、各社会において支配的だった集合意識を考察することを視野に入れていきます。このようなアプローチこそが、細部にわたり歴史問題に対する認識を深めつつ、それぞれの受講者が他社会に対するステレオタイプを乗り越え、理解するには必要です。現在の日本・中国・韓国のナショナリズムの対立を批判的に考察しつつ授業を進めていきます。このような内容を論じるにあたっては、どのような立場を取るにせよ、自らの認識に対する自己批判が求められるでしょう。</p> <p>歴史問題を三つのレベルにおいて考察していきます。第一には資料に基づき、日本のアジア侵略下で何があったのか。第二には補償をめぐる国際政治がどのように展開し、その中で、なぜ歴史問題が残ってきたのか。第三には、それぞれの社会運動がどのような意識と共に解決を求めてきたのか、です。</p>
Key Word
Asia-Pacific War, Compensation, East Asian History, Politics of Memories, Nationalism
Plan
<p>Week 1 - Week 4 Guidance, Tokyo Trial, BC Class War Crimes Trials. The 1950's-70's.</p> <p>1 Guidance, Tokyo Trial</p> <p>2 San Francisco Peace Treaty and Reparation issues</p> <p>3 Social Background of the late 1940's and 50's in three different societies: China, Korea and Japan</p> <p>4 Japan's Compensation Scheme (also comparison with West Germany)</p> <p>Week 5 - Week 8 Reparation issues, emergence of the individual compensation issues in the 1980's.</p> <p>5 Textbook issues and Nanjing Massacre</p> <p>6 Forced labor issues</p> <p>7 Injured Soldiers and Auxiliaries</p> <p>8 Atomic Bomb Victims</p> <p>Week 9 - Week 12 Post-War Compensation Movements and their counterparts in the 1990's and 2000's.</p> <p>9 From the Bandung Conference to the anti-Vietnam War movements to the post-war compensation movements in the 1990's</p>

<p>10 "Comfort Women" I</p> <p>11 "Comfort Women" II</p> <p>12 "Comfort Women" III</p> <p>Week 13 - Week 15 War responsibility and colonial responsibility in the international perspective.</p> <p>13 Korean BC Class War Criminals</p> <p>14 Colonial Responsibility</p> <p>15 TBA</p>
Grading
Class participation
Preparation
Read newspaper and pay attention to the issues that we talk about in the class. Don't depend on the information from web news sites, blogs or SNS.
Notes
The language of lecture and discussion is primarily English. Given that the majority of the texts on these issues are written in Japanese, the outline of each topic will be provided by the lecturer. I am hoping to have students with different language skills and cultural background. This class needs to be bilingual, English for speaking, listening, reading and writing and Japanese for reading primary and secondary documents. At the same time, I will try to accommodate the students with no Japanese reading skills. I will also accommodate students with varying levels of English proficiency. This is a discussion class, meaning that your attendance is essential. I will ask many questions and expect the student to express his or her opinions.
Textbook(s)
Handout will be distributed in the class.
Reference(s)
References will be announced at each session or written up in the handout.
Additional information on textbooks and reference books
Language
English

Code	9486
Instructor	Tamami FURUSE 古瀬 珠水
Title	Introduction to Japanese Traditional Culture
Term	Spring
Day, Period	Monday, 2
Lecture or Exercise	Lecture
Goals of the Course	This course aims to give students an opportunity to study Japanese traditional art including historical, religious and social aspects. Learning one's culture in a different language, students recognize its high quality and great values which were created by the Japanese of the past. Students are expected to communicate in English in the classroom.
Overview of the Course	In the first half of the class I will give lectures showing many pictures of art pieces. In the second half, each student will make a presentation on the topic from Japanese traditional culture, and also write a paper on its topic.

Key Word
Plan
第 01 回:Course introduction
第 02 回:Jōmon and Yayoi Culture
第 03 回:Buddhist Images
第 04 回:Art of Shōsō-in
第 05 回:Aristocratic Art in Heian Period
第 06 回:Art in Kamakura and Muromachi Period
第 07 回:Culture of Zen (1)
第 08 回:Culture of Zen (2)
第 09 回:Art of Tea Ceremony
第 10 回:Painting School in Momoyama Period
第 11 回:Namban Art
第 12 回:Secular Painting and Ukiyoe in Edo Period
第 13 回:Art of Theater
第 14 回:Japanese Manners and Behaviors
第 15 回:Summary
Grading
Presentation (40%)
Short quiz (20%)
Term paper (40%)
Preparation
Notes
This course accepts 40 students. If more than 41 students attend the first class, we will choose 40 students based on a lottery.
Textbook(s)
Reference: Paine and Soper, The Art and Architecture of Japan Takaaki Sawa ; Art in Japanese Esoteric Buddhism Ryoichi Hayashi ;The Silk Road and the Shoso-in 辻椎雄 『日本美術の歴史』、『日本美術史』『原色日本の美術』(小学館)
Reference(s)
Additional information on textbooks and reference books
Language
English

Code	9497
Instructor	Sachiko Horiguchi 堀口 佐知子
Title	Japanese society and culture from an anthropological perspective
Term	Spring
Day, Period	Thursday, 5
Lecture or Exercise	Lecture
Goals of the Course	The objective of this course is to provide an introduction to Japanese society and culture from an anthropological perspective. Students are expected to relate their readings with everyday experiences throughout the course. By the end of the course, students will be able to critically engage in English language scholarship on Japanese society and culture, and will have a nuanced understanding of Japanese society and culture.

Overview of the Course
Various aspects of Japanese society and culture will be explored by critically examining academic and non-academic texts on Japan.
Key Word
Plan
The following course schedule is tentative and subject to change depending on the participants of the course. Most s will involve discussions of the assigned readings and fieldwork, as well as presentations. 1 Introduction of the course, images & representations of Japan (1) 2 Anthropological fieldwork, images & representations of Japan (2) 3 Discourses on Japanese uniqueness & critiques 4 Cultures & politics of language 5 Family, presentation 6 Early socialization (1)(FW1), presentation 7 Early socialization (2)(video) 8 Education (FW 2), presentation 9 Work (FW 3), presentation 10 Gender & sexuality, presentation 11 Religion, presentation 12 Health/ end of life, presentation 13 Food culture, presentation 14 Ethnic diversity, presentation 15 Summing up
Grading
Active class participation (including reflections on presentations) 30% Reading notes (checked in 9 sessions) & viewing note (checked in 1 session) 20% Introductory essay (5%) & 3 fieldwork assignments (15%) 20% Group presentation (20%) & an individual paper based on the presentation (10%) 30%
Preparation
Students must prepare reading notes on assigned readings (articles/ chapters) prior to class. They will also use a significant time outside class in preparation for a group presentation on a topic of their choice, as well as writing a paper on the presentation topic after the presentation. They will also be expected to have fieldwork assignments done for some of the classes.
Notes
The number of students to be accepted in this class will be up to 40,so students who are interested in the course must all attend the first class in order to be eligible for a possible student selection. Student selection will be done based on a lottery to be conducted in the first class, but priority will be given to foreign students and students in senior years. Every student should submit a 500-word self-introductory essay outlining 3 topics he/she wants to make a presentation on with reasons by the 4th session. As for assignments you may have missed due to late registration, it is your responsibility to submit them by the 6th session.
Textbook(s)
Reference(s)

Additional information on textbooks and reference books	
Instructions about readings will be made in class by the instructor.	
Language	
English	

Code	9502
Instructor	Yasuyuki MATSUNAGA 松永 泰行
Title	The Middle East in International Politics
Term	Spring
Day, Period	Monday, 2
Lecture or Exercise	Lecture

Goals of the Course	
The goal of this course is to help participants familiarize themselves with sensible ways to discuss contemporary Middle East-related issues. To that end, the lectures and discussions will be structured so as to cover substantial historical, sociocultural, and political backgrounds of the issues that are introduced.	

Overview of the Course	
This course combines some readings, lectures, viewing video materials, and classroom discussions. It will have midterm and final open-book written exams.	

Key Word	
“Arab Spring” Protests and Revolutions; Sectarian Violence; Geopolitical Rivalries, Global Conflict, and International Intervention; Islam and Democracy; Politics of the Sacred and Secular; Middle East Exceptionalism(?)	

Plan	
------	--

Grading	
Active Classroom Participation: 40%	
Midterm Examination: 10%	
Final Examination: 30%	

Preparation	
-------------	--

Notes	
The class will meet every Monday, except for May 5 and July 21 as these are national holidays. The makeup classes for these days will be held on May 8 and July 28, respectively, at the regular time and classroom.	

Textbook(s)	
-------------	--

Reference(s)	
Understanding the Contemporary Middle East, 4th edition. ／Schwedler, Jillian: Lynn Rienner,2013, ISBN:1588269108	

Additional information on textbooks and reference books	
The copies of the required readings will be distributed by the instructor.	

Language	
English	

Code	9488
Instructor	Hiroki ICHINOSE 市瀬 博基
Title	★Corporate Governance and Culture in Comparative Perspective 2
Term	Spring
Day, Period	Tuesday, 5

Lecture or Exercise	Lecture and Exercise
---------------------	----------------------

Goals of the Course	
---------------------	--

(1) To examine the corporate governance and culture of the Japanese corporation as a diverse cross-section of economic, historical, social, and cultural forces in a comparative perspective.

(2) To understand how social and cultural factors such as family, gender, class, and nationalism are represented in specific industrial and interpersonal relations at work, as well as miscellaneous influences exerted by the institutional framework.

(3) To explore the socially constructed process of Nihonjinron (theories/discussions about the Japanese uniqueness and/or superiority) from the 1970s to 90s, and consider how the discourse is still, and tacitly, reproduced in some of the contemporary discussions of Japanese workplace since the 2000s.

Overview of the Course	
------------------------	--

This course will explore cultural dimensions of corporate governance in Japan through the examination of its history, discursive construction of “Japaneseness”, class/gender, and globalization.

Key Word	
----------	--

Plan	
------	--

Plan	
WK01 Introduction	
WK02 Pre- and Early Industrialization I	
WK03 Pre- and Early Industrialization II	
WK04 Pre- and Early Industrialization III	
WK05 State, Industrial Relations, and Workplace in Postwar Japan I	
WK06 State, Industrial Relations, and Workplace in Postwar Japan II	
WK07 State, Industrial Relations, and Workplace in Postwar Japan III	
WK08 Mid-term Report Review	
WK09 Aspects of High Economic Growth I	
WK10 Aspects of High Economic Growth II	
WK11 Aspects of High Economic Growth III	
WK12 After the Bubble Burst I	
WK13 After the Bubble Burst II	
WK14 After the Bubble Burst III	
WK15 Final Report Review/Conclusion	

Grading	
---------	--

The evaluation will be based primarily on two (mid-term and final) reports and class presentations, with some consideration given to attendance and class participation/discussion.

Preparation	
-------------	--

Notes	
-------	--

The specifics regarding the course syllabus will be discussed in the first class meeting.

Each class starts with 30 minutes of an introductory lecture, and is followed by 60 minutes of student presentation/class discussion of weekly topic(s). (Students are expected to make a group/individual presentation on a chosen weekly topic. The participation to class discussion is regarded as a

pre-requisite for the class.) Students who fail to attend more than three classes, those who do not make class presentations, or those who do not submit two reports will not qualify for the class.
Textbook(s)
Reference(s)
Additional information on textbooks and reference books
Various short readings (papers/articles). There is no textbook for this course.
A recommended reading to give an overview of the topics covered in the class: Hamada, T. (2005) "The anthropology of Japanese corporate management" in Robertson, J. (ed) A Companion to the Anthropology of Japan, Malden, MA and Oxford: Blackwell, pp.125-52.
Language
English

Presentation 30%
Term Paper 30%
Preparation
Notes
Students are expected to have good command of English.
Textbook(s)
Prints of various articles will be provided in the class.
Reference(s)
Mythical Thinkings: What can we learn from Comparative Mythology? / Kazuo Matsumura: Countershook Press, 2014, ISBN: 978-1-304-77253-
Additional information on textbooks and reference books
Language
English

Code	9452
Instructor	Mir Monzurul HUQ
Title	Media-Government Relationship in Japanese Democracy
Term	Spring
Day, Period	Friday, 5
Lecture or Exercise	Lecture/Seminar

Code	9490
Instructor	Kazuo MATSUMURA 松村 一男
Title	Japanese Religions
Term	Spring
Day, Period	Monday, 5
Lecture or Exercise	Lecture
Goals of the Course	This course aims to provide general information about religious situations of Japan from the Jomon period down to the present era. Starting from the Jomon clay figurines, we look at Shinto, Buddhism, Mountain religions, and New religions in order to acknowledge the importance of religions in Japanese culture.
Overview of the Course	Through the study of various historical changes in Japanese religions, students are asked to present a paper on a specific theme at the end of the term.
Key Word	
Plan	第 01 回: General Introduction 第 02 回: Geography and Religion 第 03 回: Historical Relations with Other Countries 第 04 回: Historical Changes 第 05 回: Main Features of Japanese Religions 第 06 回: Emperor and Religion 第 07 回: Basic Cosmology 第 08 回: City Planning 第 09 回: Mountain Religion 第 10 回: The Power of Women 第 11 回: Popular Beliefs 第 12 回: Variety of Religions 第 13 回: Contemporary Religious Situation 第 14 回: Religious Education 第 15 回: Importance of Religions in Japanese Culture
Grading	Attendance and Class Participation 40%

Goals of the Course	The course is intended to train students (1) to develop an understanding of the major characteristics of the Japanese media; (2) to become familiar with the role media are playing in the democratic political structure of Japan; and (3) to develop students' analytical skill by focusing on and comparing similarities and differences between the media in Japan and in other countries.
---------------------	--

Overview of the Course	The course will look at major factors that place the Japanese media at the forefront of political and social activities of the country.
------------------------	---

Key Word	
Plan	

Grading	Students will be assessed by the following method: 1. Active class participation.....10% 2. Presentation on a chosen topic.....30% 3. Final Examination..... 60%
---------	---

Preparation	
Notes	Students, who wish to take this course, should note that the course is structured around lectures and seminars. There will be one 90-minute lecture/seminar each week unless otherwise stated. First 60 minutes of each session will consist of lecture part, which will be followed by a 30-minute class discussion where students' participation in week's topic will be regarded as an essential pre-requisite of the course.

Notes	Students are also required to make one individual or group presentation during the course on a chosen topic. Students who fail to attend more than three classes and do not make class presentation will not qualify to sit for the
-------	---

final examination without evidence of extraneous circumstances.
Textbook(s)
No single textbook will be followed throughout the course. Students are highly recommended to use the following three books as basic source material: 1. Susan J. Pharr and Ellis S. Krauss (Ed.), Media and Politics in Japan (University of Hawaii Press, Honolulu, 1996). 2. William de Lange, A History of Japanese Journalism (Japan Library, Curzon Press Ltd, Surrey, England, 1998). 3. Laurie Anne Freeman, Closing the Shop: Information Cartels and Japan's Mass Media (Princeton University Press, Princeton, New Jersey, 2000).
Reference(s)
Additional information on textbooks and reference books
Language
English

Code	9493
Instructor	Fumihiko AZUMA 東 史彦
Title	★Globalization and Immigration 2
Term	Spring
Day, Period	Friday, 5
Lecture or Exercise	Lecture
Goals of the Course	This course aims, based on the information acquired through “Globalization and Immigration 1”, at reinforcing understanding of the basic rules and at enhancing analytical ability to deal with concrete cases about globalization and immigration. Cases include the ones from the WTO Dispute Settlement Body, the EU Court of Justice, the European Court of Human Rights and some Japanese domestic courts.
Overview of the Course	After reviewing and refreshing some basic information on globalization and immigration at the beginning, advanced case studies will be held, based on participants’ presentations and discussions.
Key Word	globalization, immigration, WTO, EU, law, constitution, international law, international economic law, international human rights law
Plan	第 01 回:Globalization and Immigration, introduction 1: Law and domestic and international law governing globalization and immigration 第 02 回:Globalization and Immigration, introduction 2: WTO and EU rules and systems governing globalization and immigration 第 03 回:WTO Law theory case study: Kyoto Necktie Case 第 04 回:EU Law theory case study: Costa Case 第 05 回:Globalization case study 1: Customs Tariffs between the WTO Member States 第 06 回:Globalization case study 2: Customs Tariffs between the EU Member States 第 07 回:Globalization case study 3: National treatment in the WTO Member States

第 08 回:Globalization case study 4: National treatment in the EU Member States
第 09 回:Globalization case study 5: Quantitative restrictions between the WTO Member States
第 10 回:Globalization case study 6: Quantitative Restrictions between the EU Member States
第 11 回:Immigration case study 1: Movement of WTO Member States’ nationals between the WTO Member States
第 12 回:Immigration case study 2: Free movement of EU Citizens in the EU
第 13 回:Immigration case study 3: Treatments of WTO Member States’ nationals in the WTO Member States
第 14 回:Immigration case study 4: No discrimination between EU citizens in the EU
第 15 回:Immigration case study 5: Refugees
第 16 回:Conclusive discussion
Grading
Active participation (30%) and presentations (70%)
Preparation
Participants in charge of presentations are to prepare presentations for 15 to 20 minutes.
Notes
This course is mainly for those who have studied “Globalization and Immigration 1” but beginners are also welcome.
Textbook(s)
Reference(s)
Additional information on textbooks and reference books
Materials for the presentations will be provided. Reference books will be indicated during the lectures.
Language
English

Code	9464
Instructor	Atsuko HIGASHINO 東野 篤子
Title	Introduction to International Relations
Term	Spring
Day, Period	Intensive
Lecture or Exercise	Lecture
Goals of the Course	This course aims to provide students with a foundation of International Relations. Students will learn the basics of International History, theories and approaches of International Relations (Realism, Liberalism and Constructivism in particular), and will study various topics (war and peace, human rights, regionalism and globalization, etc.). This course also aims to enhance students’ ability to read and discuss in English.
Overview of the Course	In this course, students learn International Relations through three elements: lectures, quick readings of the representative materials of International Relations and group/class discussions.
Key Word	International Relations, International History, International

Politics, International Relations Theories
Plan
Session 1:Introduction Session 2-4: International Relations Theories Session 5:International Ethics Session 6-7:the changing character of war Session 8-9:International Security Session 10:International Regime Session 11-2:Poverty and Development Session 13-4:Review Session Session 15:Exam
Grading
Class participation/mini tests 50% Final Examination 50%
Preparation
Participants are strongly asked to read 村田他編『国際政治学をつかむ』(有斐閣、2009年) BEFORE coming to the first class since it is essential to understand the minimum basics of International Relations in your own language (and it is often very hard for students to learn something new in a foreign language).
Notes
Those who are absent from the class more than three times are not eligible to sit for the final exam
Textbook(s)
国際関係・安全保障用語辞典／小笠原 他 編:ミネルヴァ書房,2013
Reference(s)
The Globalization of World Politics: An Introduction to International Relations 6th edition／Baylis and Smith (eds.):Oxford University Press,2014 国際政治学をつかむ／村田 他 編:有斐閣,2009
Additional information on textbooks and reference books
It is essential that students bring 小笠原他編『国際関係・安全保障用語辞典』(ミネルヴァ書房、2013年) to the class, in order to check the key terms of International Relations in Japanese and English. Most of the materials used for the quick readings in the class will be selected from Baylis and Smith (eds.) The Globalization of World Politics: An Introduction to International Relations 6th edition, Oxford University Press, 2014. Please note however that the students do not need to buy this textbook, since photocopies will be distributed in the class.
Language
English (explanation in Japanese will be provided if necessary)

Code	9455
Instructor	Kazuo ABIKO 我孫子 和夫
Title	War and Journalism
Term	Spring
Day, Period	Thursday, 5
Lecture or Exercise	Lecture
Goals of the Course	This course is to examine how wars and international conflicts have been covered by news media, what issues they faced in reporting wars and international conflicts, and what role they play in shaping the public opinion. This is not necessarily a journalism course but rather intended to assist

students to acquire a historical knowledge on the role of news media at times of war and international conflict.
Overview of the Course
This course will focus on specific wars and international conflicts. While examining their news coverage, the fundamental role of news media will be discussed. Lectures and discussions.
Key Word
Plan
This is a tentative schedule and the topics may be changed, based on students' interest.
An Overview: Basic Issues and the Flow of International News U.S. Civil War and Spanish-American War World War I World War II World War II and Japanese Media Korean War Cold War Vietnam War 1 Vietnam War 2 Mid-Term Essay or Presentation Africa and Middle East Conflicts Gulf War "War on Terror" Wrap up Session Term Paper Submission
Grading
Class participation 30% Mid-term essay or presentation 30% Final Examination/Essay 40%
Preparation
Notes
Students who wish to take this course will be encouraged to take part in discussions in the class. It will be an important part of this course to exchange views with other students, in order to deepen their understanding of the issues presented by the instructor. At some time during this course, students may be asked to pick up some news reporting on international conflicts and write a brief report or make group presentations for class discussions, depending on the size of the class.
Textbook(s)
Printed materials will be distributed in the beginning of class sessions.
Reference(s)
BREAKING NEWS: How The Associated Press Has Covered War, Peace and Everything Else／The Associated Press:Princeton Architectural Press,2007 The Power of News: The History of Reuters／Donald Read:Oxford University Press,1992 Live From The Battlefield／Peter Arnett:Simon & Shuster, Touchstone,1994, 2007 Hotel Warriors: Covering the Gulf War'／John J. Fialka:The Johns Hopkins University Press,1991 "War on Terror," Amnesty International Annual Lecture, January 18,2006／Norm Chomsky:Norm Chomsky Website,2006

Additional information on textbooks and reference books	
Language	
English	

Code	9449
Instructor	Mir Monzurul HUQ
Title	Introduction to Japanese Politics
Term	Spring
Day, Period	Friday, 4
Lecture or Exercise	Lecture

Goals of the Course

The course is intended to train students (1) to develop an understanding of the political system of Japan; (2) to guide them to acquire in-depth knowledge of the functioning of various organs that play key role in making a democratic political system meaningful; and (3) to develop their analytical skill by arousing their interest in comparative studies of similarities and differences of the political process of Japan and other democratic societies.

Overview of the Course

The course will look at various aspects of Japanese political system, ranging from the constitution of the country to the functioning of local governments and different pressure groups.

Key Word

Plan

Grading

Students will be assessed by the following method:
 1. Active class participation.....10%
 2. Essay or presentation on a chosen topic..... 30%
 3. Final Examination.....60%

Preparation

Notes

Students, who wish to take the course, should note that the course is structured around lectures and seminars. There will be one 90-minute lecture/seminar each week unless otherwise stated. First 60 minutes of each session will consist of the lecture part, which will be followed by a 30-minute class discussion where students' participation in week's topic will be regarded as an essential per-requisite of the course.

Students are also expected to make a group or individual presentation on a chosen topic related to the course. Students who fail to attend more than three classes will not qualify to sit for the final examination without evidence of extraneous circumstances.

Textbook(s)

No single textbook will be followed throughout the course. Students are highly recommended to use the following books as basic source material:

1. J. A. A. Stockwin, *Governing Japan*, third edition (Blackwell Publisher, Oxford and Massachusetts, 1999).
2. Takashi Inoguchi, *Japanese Politics: An Introduction* (Trans Pacific Press, Melbourne, 2005)
3. Kishimoto Koichi, *Politics in Modern Japan*:

Development and Organization (Japan Echo Inc. Tokyo, 1997)
 4. Routledge Handbook of Japanese Politics (Routledge, October 2010)

Reference(s)

Additional information on textbooks and reference books

Language

English

Code	9499
Instructor	Tetsuya MOTOHASHI 本橋 哲也
Title	★Post colonialism and Modern Japan
Term	Spring
Day, Period	Intensive
Lecture or Exercise	Lecture

Goals of the Course

Japan became a “modern” nation and the Japanese started to regard themselves “Japanese” under the shadow of its colonial otherness----that should be the assumption which lies at the heart of any inquiry into the question of Media and Politics of Modern Japan. This class will look at the various aspects of Japanese media in politics and the politics of Japanese media through the perspective of modern Japanese imperialism and colonialism.

Overview of the Course

We cover a wide range of topics from the 150- years-or-so history of Japanese modernity, which has been involved with colonialism particularly against its East-Asian neighbors.

Key Word

Japan, Modernity, Otherness, Colonialism

Plan

1. Modernity and Colonialism in Japan: Overview (Power Point)
2. Otherness 1: “Ainu”
3. Otherness 2: “Ryukyu”
4. Otherness 3: “Asia”
5. Otherness 4: “Buraku”
6. Asia Pacific War 1
7. Asia Pacific War 2
8. Atomic Bombs: Hiroshima and Nagasaki
9. War in Okinawa
10. Nuclear Power
11. Koreans in Japan
12. Student Movement
13. Feminism

Grading

Attendance (50%) and a written report by any language of your choice (50%).

Preparation

Notes

Attendance to the class is essential.
 Lectures are conducted in English.

Textbook(s)

Appropriate materials will be provided during the course.

Reference(s)

Additional information on textbooks and reference books	
Language	
English	

Code	9498
Instructor	Tetsuya MOTOHASHI 本橋 哲也
Title	★Introduction to Cultural Studies
Term	Spring
Day, Period	Intensive
Lecture or Exercise	Lecture

Goals of the Course
Cultural Studies are fundamentally concerned with the power relationships of your own daily lives, which create you and are created by yourself. The aim of this class is to introduce some of the key ideas of Cultural Studies through examining cultural materials chosen from various fields of representations.

Overview of the Course
Starting from and introduction of basic concepts of Cultural Studies, we deal with various materials to encourage students to be familiarized with the ways of thinking in Cultural Studies.

Key Word
Culture, Politics, History, Arts

- Plan**
1. What is Cultural Studies? (Power Point)
 2. Discrimination (“Othello”)
 3. Neoliberalism (“The Land of the Dead”)
 4. Media (“911 in Plane Site”)
 5. Globalization (“Life and Debt”, “Darwin’s Nightmare”)
 6. US (“Noam Chomsky: 911 and US”)
 7. Terrorism (“Fahrenheit 911”)
 8. Environment (“An Inconvenient Truth”)
 9. Gender and Reproduction (“Vera Drake”)
 10. Holocaust (“Schindler’s List”)
 11. Sports (“Million Dollar Baby”)
 12. History (“The War We Were Not Taught About: In the Philippines”)
 13. Racism (“Malcolm X”)
 14. Language (“My Fair Lady”)
 15. Colonialism (“West Side Story”)

Grading
Attendance (50%) and a written report by any language of your choice (50%).

Preparation

Notes
Attendance to the class is essential.
Lectures are conducted in English.

Textbook(s)
Appropriate materials will be provided during the course.

Reference(s)

Additional information on textbooks and reference books

Language

English

Code	5005
Instructor	Ryujiro HAYASHI 林 龍次郎
Title	★★Introduction to Linguistics (Syntax)
Term	Spring
Day, Period	Thursday, 3
Lecture or Exercise	Lecture

Goals of the Course
This course offers an introduction to syntactic theory. The aim is to let students acquire the basic knowledge of generative grammar and the methods of “thinking linguistically”.

Overview of the Course
Basic principles of syntax (sentence structure) will be introduced and discussed. Examples will be mostly from English. Each week the class consists of a lecture, an exercise, and discussion.

Key Word
linguistic theory, generative grammar, syntax, lexicon, I-language

- Plan**
- 第 01 回: Introducing theoretical linguistics (1)
 - 第 02 回: Introducing theoretical linguistics (2)
 - 第 03 回: Fundamental ideas in generative grammar
 - 第 04 回: Constituency
 - 第 05 回: Lexicon
 - 第 06 回: Complement and adjunct
 - 第 07 回: X-bar theory
 - 第 08 回: Head movement
 - 第 09 回: Functional projections
 - 第 10 回: Wh-movement and constraints on movement
 - 第 11 回: NP movement
 - 第 12 回: Raising and Control
 - 第 13 回: Syntax and meaning
 - 第 14 回: C-command
 - 第 15 回: Binding

Grading
Coursework (40%) and a final exam (60%)

Preparation
Students are required to submit homework each week. It is recommended that they read at least one of the books introduced in class.

Notes
No prior knowledge in syntax or linguistic theory is required. Active participation in class is essential. An interest in English grammar is helpful. Students must review each lecture at home and are expected to prepare questions.

Textbook(s)
No textbook is used. Handouts are distributed in class.

Reference(s)
Syntactic Analysis: The Basics / Sobin,
Nicholas: Wiley-Blackwell, 2011, ISBN: 978-1444335071
Syntax: A Generative Introduction 3rd ed. / Carnie,
Andrew: Wiley-Blackwell, 2013, ISBN: 978-0470655313

Additional information on textbooks and reference books

Language

English

Code	6025
Instructor	Megumi ARAI 新井 潤美
Title	★★Introduction to Contemporary British Culture: The Pygmalion Theme in British Culture
Term	Spring
Day, Period	Intensive
Lecture or Exercise	Lecture
Goals of the Course	To introduce various aspects of British culture. The focus will be on the representations of the Pygmalion theme in British culture, with reference to the concept of class and class consciousness.
Overview of the Course	Pygmalion is a character in Greek mythology. He is a sculptor who falls in love with the statue which he has created, wishes that she would come alive, and then has his wish granted. We will take a look at the play of the same name by George Bernard Shaw, its film versions and musical adaptation, and other various works which deal with the Pygmalion myth, with especial attention to the concept of class in British culture. We will also look at modern representations of the Pygmalion myth in the United States in order to have a sense of the difference between the two cultures.
Key Word	Pygmalion, class, language, education
Plan	第 01 回:The Pygmalion myth and its representations 1 第 02 回:The Pygmalion myth and its representations 2 第 03 回:The Pygmalion myth and its representations 3 第 04 回:Bernard Shaw's Pygmalion and the musical My Fair Lady 1 第 05 回:Bernard Shaw's Pygmalion and the musical My Fair Lady 2 第 06 回:Bernard Shaw's Pygmalion and the musical My Fair Lady 3 第 07 回:Bernard Shaw's Pygmalion and the musical My Fair Lady 4 第 08 回:Willy Russell's Educating Rita 1 第 09 回:Willy Russell's Educating Rita 2 第 10 回:Willy Russell's Educating Rita 3 第 11 回:Pygmalion on the stage and screen 1 第 12 回:Pygmalion on the stage and screen 2 第 13 回:Pygmalion on the stage and screen 3 第 14 回:Pygmalion on the stage and screen 4 第 15 回:Summing Up
Grading	Students will be required to write several short essays in English during the course.
Preparation	
Notes	All the lectures will be in English, and students are required to use English only inside the classroom. Students will be required to prepare for the course by reading the set text.
Textbook(s)	Pygmalion／Bernard Shaw: Penguin Classics,

ISBN:3125738075
Handouts will be given out at the beginning of the course.
Reference(s)
Additional information on textbooks and reference books
Please read Bernard Shaw's Pygmalion before the beginning of the course. If the Penguin Classics edition is not available, any other edition will do.
Language
English

Code	7068
Instructor	Kaoru AOYAMA 青山 薫
Title	★★Gender and Globalization
Term	Spring
Day, Period	Intensive
Lecture or Exercise	Lecture (interactive)
Goals of the Course	The concept of gender and the surrounding theory explicates differences between the sexes as a product of social power relationships, and can be applied to building a society in which diverse lives can pursue diverse happiness in their own ways. Based on these ideas, this course aims to overturn your 'common sense' about human experiences, relationships and daily-life practices. This is also an opportunity to train you to analyze issues with a gender perspective, from micro to macro, and local to global, including the widening gap between the rich and the poor in Japan, and its linkage to the global wealth gap. Whether and how you achieved the aim will have been evaluated by a 'gender/sexuality/class/culture sensitivity scale' through your participation to the class and a final essay.
Overview of the Course	While introducing basic social theories, concepts of gender and sexuality, feminism, queer theory and its history, this course connects our daily-life relationships to broad issues such as global social problems, human rights and questions of humanity. English is the medium 'critically' used as a language with power to colonize.
Key Word	gender, sexuality, globalization, dichotomy, discrimination
Plan	Plan: Apart from lectures, this course may use audio-visual material and/or group discussion if time and the class size permit. The theme of each week below may change/be swapped. 1. Introduction about the lecturer, course outline and method of evaluation 2. Gender discrimination and gender roles 3. 'As Nature Made Him' 4. Is gender difference natural? 5. The sinful dualism of sexes 6. Queer theory and identity politics 7. A quick look at 'Hush!' 8. Other types of discrimination than sexism: leaning from post-colonialism 9. Nationalism and gender 10. Feminization of poverty, labor and migration

11. Emotional, care and sex labor 12. Trafficking in persons and migrant work 13. Global sex trade as sex work 14. Conclusion
Grading
Participation: 40% and a final essay: 60%
All evaluation material such as a term-end essay, your feedback to the class, questions and answers, discussion, etc. must be written/expressed in English. The term-end essay must be submitted AFTER proofread by an English native speaker. Bear in mind that your English ability, as much as the content of what you write/say, will be reflected in evaluation in this course.
Preparation
Reading one or more of the reference books below is a good idea. Assignment may sometimes be required during the course.
Notes
Do not worry too much if you are not confident with English. Broken and/or different sorts of English are welcome; fluent speakers shall also learn to be democratically patient.
HOWEVER, YOU NEED TO SPEAK THROUGHOUT THE COURSE AND WRITE THE TERM-END ESSAY IN ENGLISH; if you NEED an A or A+ in order to gain a grant, for instance, you must be equipped with enough spoken and written English to express yourself for a higher mark.
Both you and I shall make efforts for all to contribute to the class anyway!
Textbook(s)
There is no fixed textbook for this course. Power Point handouts and other references are delivered in classes.
Reference(s)
Introducing Gender & Women's Studies: Third Edition / Diane Richardson ed.: Palgrave/Macmillan, 2008, ISBN: 97802305430 Transforming Japan: How Feminism and Diversity are Making a Difference / Kumiko Fujimura-Fanselow ed.: Feminist Press, University of New York, 2011, ISBN: 9781558616998 ジェンダー論をつかむ / 千田有紀・中西祐子・青山薫: 有斐閣出版, 2013, ISBN: 9784641177161
Additional information on textbooks and reference books
Language
English Only

Code	9506
Instructor	Tetsuya KUSUMOTO 楠本 徹也
Title	Japanese Grammar for Pedagogical Purposes (日本語文法の諸相—日本語教育文法として)
Term	Spring
Day, Period	Wednesday 5
Lecture or Exercise	Lecture

Goals of the Course
日本語を一つの外国語として捉え、その特質を探る。そして、日本語教育における文法の概要を知る。
Overview of the Course
日本語の特徴に関して、日本人学生と留学生が共に考えていく。
Key Word
日本語教育文法
Plan
Grading
受講時の平常点 30%、筆記試験 70%
Preparation
特に必要ない。
Notes
事前の文法知識は不要。授業では日本人学生と留学生と一緒に考えていくので、積極的に参加すること。
Textbook(s)
Reference(s)
Additional information on textbooks and reference books
プリント使用
Language
Japanese

Code	9460
Instructor	Giorgiandrea SHANI
Title	Peace and Conflict Studies: An Introduction to Human Security
Term	Spring
Day, Period	Monday, 6
Lecture or Exercise	Lecture and seminar
Goals of the Course	
1. To introduce students to the main theories in peace and conflict studies 2. To introduce students to the concept of Human Security 3. To get students to apply theories learned to empirical case studies.	
Overview of the Course	
As a foundation course for the study of peace and conflict studies, this course examines key approaches and concepts in the study of peace and conflict resolution, with a special focus on Human Security. The first part of the course discusses different concepts of peace and the development of peace and conflict theory. The second part will introduce students to different approaches to Human Security. Finally, students will be able to apply the main theoretical perspectives to empirical case studies of their choice in order to provide concrete frames of reference for understanding the theory and practice of peace and conflict resolution.	
Key Word	
Peace, Conflict, Human Security	
Plan	
1. Overview 2. Peace and Conflict Studies: An Introduction 3. Negative and Positive Peace 4. Direct and Structural Violence 5. Theories of Peacebuilding 6. Human Security: Narrow and Broad Approaches	

7. Human Security: Critical Perspectives
8. Toward a Critical Human Security Paradigm?
9. Human Security in Crisis?
10-15. Student Presentations
Grading
1. Class presentations
2. Term reports
Preparation
Students are expected to read selected chapters from the textbooks used.
Notes
Textbook(s)
Protecting Human Security in a Post 9/11 World/Giorgio Shani, Makoto Sato, and Mustapha Kamal Pasha (eds.) : Palgrave, 2007, ISBN:02300064, http://www.palgrave.com/products
Reference(s)
Religion, Identity and Human Security/Shani : Routledge, 2014, ISBN:978-0-415-50906-, http://www.routledge.com/books/d
Additional information on textbooks and reference books
Some essential readings are available here:
1. Commission on Human Security, 2003. The Final Report of the Commission on Human Security: http://www.humansecurity-chs.org/finalreport/index.htm
2. Human Security Center, 2009. "The Human Security Report" http://www.humansecurityreport.info/index.php?option=com_frontpage&Itemid=1
3. United Nations Development Programme (UNDP) (1994) Human Development Report 1994: New Dimensions of Human Security: http://hdr.undp.org/en/media/hdr_1994_en_contents.pdf
4. UN Trust Fund for Human Security, 2009. Human Security http://ochaonline.un.org/Default.aspx?alias=ochaonline.un.org/humansecurity
More info on the instructor here: http://researchers.icu.ac.jp/Profiles/6/0000527/prof_e.html http://icu.academia.edu/GiorgioShani
Language
English

Code	6228
Instructor	Subha Chakrabarty DASGUPTA
Title	The Novel in India
Term	Spring
Day, Period	Thursday 4
Lecture or Exercise	Lecture
Goals of the Course	To provide the student with a view of the history of the origin of the novel in India as different from the European novel and then to show its links with indigenous forms and historical contexts as it develops.
Overview of the Course	To give an overview of the history of novel writing in India with reference to its origins, specific features in the early period, contemporary themes and experiments in form.

Key Word	Indigenous narrative form, western influence, transformation, regional novel, theme, formal experiment
Plan	Early history of the novel in India (2 study hours) Indigenous forms, western influence and transformations with examples (2 study hours) Novels in the pre-independence period (2 study hours) Two modern novels (5 study hours) Contemporary experiments with form (2 study hours) Questions and discussions (2 study hours)
Grading	Students will be graded according to their active participation in class.
Preparation	To read histories of Indian literature and at least two novels discussed in detail in class.
Notes	Excerpts from novels will be provided in class.
Textbook(s)	
Reference(s)	Realism and Reality: The Novel and Society in India/Meenakshi Mukherjee : Oxford India Publishers, 1994 History of Indian Literature , Vol 10/Sisir K Das : Sahitya Akademi, 1991 Indian Narratology/K Ayyappa Paniker : IGNCA, Delhi, 2003
Additional information on textbooks and reference books	
Language	English

Code	9461
Instructor	Yukiko TAKASHIBA 高柴 優貴子
Title	International Dispute Settlement
Term	Spring
Day, Period	Intensive
Lecture or Exercise	講義及び演習
Goals of the Course	国際裁判とは何か、国際紛争解決に国際法がどのように用いられるのかについて、日本が初めて国際司法裁判所 (ICJ) における係争事件の当事国となった『南極における捕鯨裁判』を主な題材として学ぶ。なお、講師自身が ICJ で 6 年間法務官として勤務した後、本裁判では外務省職員として日本側の補佐人・弁護人を務めた経験を踏まえ、参加者が国際裁判の実態について出来る限り具体的な像をつかめるような集中講義 (演習) としたい。また、発表とそれに続くディスカッションを通じ、参加者が専門的な内容を英語で表現する力を磨く機会としたい。
Overview of the Course	全 5 日間の集中講義とする。(授業計画参照) 1 日目に国際法・国際裁判の基本的な講義を行い、2 日目以降捕鯨裁判の中身に入り、参加者の発表を中心に演習形式で進める。

Key Word
国際法、国際紛争解決、国際裁判
Plan
1 日目 ①国際法／国際裁判に関する基本的な講義、 ②2 日目以降に登場する主要な概念の解説、③2 日目以降の発表者の 割り振り。 2 日目 南極における捕鯨裁判：口頭弁論第一ラウンドにおける豪州側の議論（CR2013/7-CR2013/11） 3 日目 口頭弁論第一ラウンドにおける日本側の議論（CR2013/12-CR2013/16） 4 日目 口頭弁論第二ラウンドにおける日豪の議論（豪：CR2013/18-20、日：CR2013/21-23） 5 日目 ①ICJ 判決の検討、②総括、③小テスト（筆記） CR：Comptes rendus の略。口頭弁論の逐語記録を指す。（事前学習の項のリンクからダウンロードできる。）
Grading
事前学習を踏まえた発表、議論への参加、小テスト（最終日）を勘案し総合的に評価する。
Preparation
集中講義かつ演習形式で行うため、以下の文書をダウンロードし、事前に必読のこと（電子機器上ではなく、プリントアウトし授業に持参するのが望ましい）。分量が多いため、集中講義は9月開講であるが、夏休み中から読み進めることを勧めたい。 ①口頭弁論の逐語記録（CR） http://www.icj-cij.org/docket/index.php?p1=3&p2=3&k=64&case=148&code=aj&p3=2 【参考】なお、口頭弁論を録画したビデオを次のリンクから観ることができる： http://www.icj-cij.org/presscom/multimedia.php?p1=6 （中段"case-related videos"の項の中から”Whaling in the Antarctic”を選択。） ②2014 年 3 月 3 日付け判決 上述のリンク先から'Judgment'の項をクリック。
Notes
専門的な内容を英語で表現できるようになるには、大量の購読こそ最短距離となる。本集中講義で最大の成果をあげられるかどうかは、各人がどのくらい文献を読みこなせるかに左右される。読み進めるうちに、議論の繰り返しの部分に気づくようになれば（その分早く読めるようになるので）しめたものである。 1 日目に行う発表の割り振りに従って、自分のパートには全力を挙げて取り組んでもらいたい。その際、自分の言葉で要約し、担当箇所の切り貼り（単なる読み上げ）にならないようにしたい。また自分の発表だけでなく、各人の発表を集中して聞き、積極的に議論に参加してもらいたい。
Textbook(s)
Reference(s)
Additional information on textbooks and reference books
基本的な条約条文等は初回に配布する。 参考書等は特に指定しないが、事前学習に挙げた文献を必読のこと。

Language
English
Code
9467
Instructor
Housam DARWISHEH
Title
International Social Development 1
Term
Spring
Day, Period
Friday 2
Lecture or Exercise
Lecture
Goals of the Course
1. Comprehend the forces that affect the Middle East and North Africa (MENA)'s political economy and social conditions. 2. Analyze and examine the social forces that are agents of political change and crises in the MENA. 3. Explain how economic conditions created an atmosphere for uprisings and regime change. 4. Study legacies of the Colonial Era and their impact on current economic and political conditions.
Overview of the Course
The course is an introduction to the political economy of the Middle East and North Africa (MENA) in light of the recent events of the so-called ‘Arab Spring’ and their ramifications. The course will focus on the root causes of the ‘Arab Spring’ by examining the economic history of the region and theories and practices of economic development in the MENA. The overall objective of the course is to give students a background of the main socioeconomic issues facing the MENA and the relationship between the global economy and the current upheavals in the region.
Key Word
Social development, political economy, the Middle East and North Africa, Arab uprisings
Plan
Grading
Attendance (20%), Participation (20%), Presentation (30%), Exam (30%)
Preparation
Notes
It is essential that students do the assigned reading BEFORE the class in which it will be discussed. The final exam will be based on the readings we do in this class.
Textbook(s)
A Political Economy of the Middle East／Allan Richards, John Waterbury, Melani Cammett, and Ishac Diwan : Westview Press, 2014, ISBN:978-0813349282, Updated 2013 edition Globalization and the politics of development in the Middle East / Clement Moore Henry, Robert Springborg／Clement Moore Henry and Robert Springborg : Cambridge University Press, 2010, ISBN:978-0521737449
Reference(s)
Additional information on textbooks and reference books
Language
English

履修コード	9508
授業科目名	世界の中の日本 A
担当教員名	藤澤 茜
授業題目名	メディアとしての浮世絵
開講学期	春学期
曜日・時限	火 3
講義題目_和文	メディアとしての浮世絵
講義題目_英文	The role of ukiyo-e (Japanese woodblock prints) as the information medium
講義・演習の別	講義
授業の目標	江戸時代（1603～1868）を中心に流行した浮世絵版画は、鮮やかな色彩や細密な表現が芸術的に高い評価を受け、ゴッホやモネなど海外の画家にも影響を与えている。その一方で、娯楽やファッション、社会現象など、様々な情報を盛り込んだ内容の作品も多く、江戸庶民に必要なメディアとしての役割も果たしていた。 この授業では浮世絵の持つ情報性に注目し、個々の作品を読み解きながら、浮世絵が江戸庶民に与えた影響力の大きさについて考えたい。美人画、役者絵、風景画など主要な画題のほか、地震などの災害や政治への不満、物価の上昇といった社会的な内容、外国の珍しい文化などをどのように伝達するかという点にも注目する。そして、新聞の役割を果たした錦絵新聞や商品広告の図などを通じて、現代のメディアへの継承についても検証したい。 浮世絵の情報を読み解く方法を理解し、現代のメディアにどのように継承されているかという問題について受講者が各自解説できるようになることを、授業の到達目標とする。なお授業中に約 150 年前に作成された浮世絵版画を持参し、鑑賞する機会をもうける。近くで見えて、触って、浮世絵に親しんでもらいたい。
授業の概要	版画の制作過程を解説し、浮世絵に描かれる歌舞伎役者、ファッション、名所、外国文化、地震、商品広告などの情報を検証することで、浮世絵が果たしたメディアとしての役割について明らかにする。
キーワード	浮世絵 メディア 広告 娯楽

授業計画	授業は以下の計画によって行なわれる。 ガイダンス—浮世絵とは何か 浮世絵のできるまで—「彫り」と「摺り」 風景画の情報 1 北斎と富士山 風景画の情報 2 広重と江戸名所 美人画に見る女性のおしゃれ 浮世絵と広告 1 呉服・化粧品 浮世絵と広告 2 薬・浮世絵の板元 江戸のスター歌舞伎俳優の死絵—訃報をどう伝えるか 鯨絵—地震と浮世絵 1 鯨絵—地震と浮世絵 2 西洋の文化と浮世絵 1 異文化との交流 西洋の文化と浮世絵 2 横浜絵に見る異国 江戸の社会と浮世絵 風刺画を読み解く 浮世絵に見る江戸の経済情報・明治の錦絵新聞 まとめ
成績の評価	小レポート（30%）、学期末レポート（40%）、毎回のコメントシート（30%）をもとに、受講時の平常点を加味して評価する。
事前学習等	毎回の授業には、指定した参考文献をあらかじめ読んだ上で出席すること。
受講上の注意	第1回目の授業に必ず出席すること。
教科書	授業時に別途指示する。
参考書	浮世絵が創った江戸文化／藤澤茜：笠間書院，2013，ISBN:978-4305706881 幕末・明治のメディア展：新聞・錦絵・引札／早稲田大学図書館編：早稲田大学出版部，1987年，ISBN:978-4657870247 カラー版 浮世絵（岩波新書）／大久保純一：岩波書店，2008年，ISBN:978-4004311638 鯨絵：震災と日本文化／宮田登、高田衛監修：里文出版，1995年，ISBN:978-4947546845 授業の内容に従い、随時さらに詳しく紹介する。
	教科書・参考書に関する補足情報
使用言語	日本語

履修コード	9509
授業科目名	総合科目Ⅷ
担当教員名	平藤 喜久子
授業題目名	日本の社会と宗教
開講学期	春学期
曜日・時限	火 4
講義題目_和文	
日本の社会と宗教	
講義題目_英文	
Japanese society and religion	
講義・演習の別	
講義	
授業の目標	
今の日本社会で話題となっている宗教をめぐる問題について知識を得る。 その問題についてディスカッションすることにより、自分の意見をもてるようになる。	
授業の概要	
「授業の計画」に挙げているようなテーマを中心に、調べ、発表をする。	
キーワード	
授業計画	
第1回 イン트로ダクション	
第2回～6回 外国人に知ってもらいたい日本の宗教文化	
第7回～13回 日本の宗教と社会に関する発表とディスカッション	
第14回 まとめ	
第15回 まとめ	
取り上げる予定のテーマは次の通り。 日本の年中行事 日本人の一生と宗教 日本人の結婚式 日本人の葬式 アニメ・マンガと宗教 ゲームと宗教 音楽と宗教 文学と宗教 日本の世界遺産 言葉のなかの宗教 特定の宗教団体について調べる	
成績の評価	
レポート 25%	
プレゼンテーション 50%	
授業時の質疑応答 25%	
事前学習等	
受講上の注意	
この授業で使用される言語は、日本語であ	

る。 授業は演習形式で行われる。発表は複数回担当することもある。 日本人学生には、とくに積極的に授業運営に参加し、活発な質疑応答を行うことが求められる。	
教科書	
なし	
参考書	
教科書・参考書に関する補足情報	
使用言語	
日本語	

履修コード	9517
授業科目名	総合科目Ⅷ
担当教員名	平藤 喜久子
授業題目名	現代日本の宗教文化
開講学期	春学期
曜日・時限	火 5
講義題目_和文	
現代日本の宗教文化	
講義題目_英文	
Religious culture in contemporary Japan	
講義・演習の別	
講義	
授業の目標	
一般的に日本人の多くは複数の宗教と関わりを持つといわれている。たとえばお正月には神社に初詣に行き、結婚式はキリスト教式で行い、お葬式は仏教式で行う人は珍しくない。その一方で、日本人は無宗教であるとも言われる。 この授業では、日本の宗教に関する基礎的な知識を得ること、その上で現代の日本人と宗教との関わりについて考えることを目標としている。	
授業の概要	
現代日本の宗教に関する状況を、アンケート調査の結果や、写真、動画、映画やアニメ、マンガなどを使いながら紹介していく。	
キーワード	
授業計画	
第1回 イン트로ダクション	
第2回 日本人の宗教意識	
第3回 日本人と神道	
第4回 日本人と神道	

**ISEPTUFS Students & Special Auditing Students
Guidebook of class registration
=2014 Spring Semester=**

ISEPTUFS・特別聴講学生 履修案内 =2014 年春学期=

2014 年 3 月発行

編 集 ・ 発 行

東京外国語大学留学生課

〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1